

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2018年3月20日から2021年8月13日（当初、無期限）まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みません。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（9月30日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

償還運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インド株式オープン （資産成長型）

繰上償還

第4期（償還日 2021年8月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド株式オープン（資産成長型）」は信託約款の規定に基づき、2021年8月13日をもちまして繰上償還いたしました。

ここに、運用状況と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託証券 組入比率	純資産額 総額
(設定日) 2018年3月20日	10,000	—	—	—	12
1期(2018年10月1日)	10,436	0	4.4	66.2	40
2期(2019年9月30日)	9,679	0	△ 7.3	98.1	40
3期(2020年9月30日)	9,400	0	△ 2.9	94.7	30
(償還時) 4期(2021年8月13日)	(償還価額) 13,130.83	—	39.7	—	32

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	
		騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2020年9月30日	9,400	% —	% 94.7
10月末	9,408	0.1	94.6
11月末	10,157	8.1	95.0
12月末	10,785	14.7	95.2
2021年1月末	11,192	19.1	94.2
2月末	12,206	29.9	94.8
3月末	12,501	33.0	90.2
4月末	12,234	30.1	91.4
5月末	12,955	37.8	92.0
6月末	13,219	40.6	91.1
7月末	13,135	39.7	—
(償還時) 2021年8月13日	(償還価額) 13,130.83	39.7	—

(注) 騰落率は期首比です。

設定以来の運用経過

基準価額等の推移について（2018年3月20日（設定日）～2021年8月13日（償還日））



設定日	10,000円
償還日	13,130円83銭 (既払分配金0円)
騰落率	31.3% (分配金再投資ベース)

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額です。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

設定以来で基準価額は上昇しました。

2018年3月の設定当初から好調な企業業績への期待などを背景に投資対象ファンドの保有銘柄の株価が上昇したことから基準価額は上昇しました。2018年10月にノンバンクセクターの流動性低下に対する懸念を理由にインド株式市場が下落したことから基準価額は下落しました。その後、2019年4月にかけては下院総選挙でインド人民党（BJP）が圧勝したことや9月の法人税減税発表などを受けて投

資対象ファンドの保有銘柄の株価が上昇したことで基準価額も反発しました。2020年3月には新型コロナウイルス感染拡大による経済への悪影響が懸念されて株式市場が大幅に下落し、さらに通貨ルピーも円に対して下落したことから基準価額は大きく下落しました。その後は米国の大型景気対策や経済活動平常化への期待、さらに2020年11月の米国大統領選挙などを背景に世界的にも株式市場が上昇したことから基準価額は上昇基調で推移しました。

インド株式市場

2018年3月の設定当初から好調な企業業績期待などを背景にインド株式市場は上昇基調で推移しました。同年10月にはノンバンクセクターの流動性低下に対する懸念から下落しましたが、2019年4月以降は下院総選挙でのインド人民党（BJP）の圧勝で再び上昇基調となりました。さらに2019年9月には法人税の大型減税の発表が好感され株価の上昇を後押ししました。2020年3月には新型コロナウイルス感染拡大による経済への悪影響が懸念されて株式市場は大幅に下落しました。3月末に米国の大型景気対策をきっかけに投資家心理が改善して世界的に株式が買い戻されると、インド株式市場も持ち直しました。その後は段階的なロックダウン（都市封鎖）解除による経済活動平常化への期待などから株価は再び上昇基調となりました。11月には米国大統領選挙結果を受けた世界的な株式市場の上昇を背景に大きく上昇しました。2021年は4月以降、新型コロナウイルスの感染急拡大が嫌気され一時的に上値が抑えられましたが、その後1日当たりの新規感染者数がピークを打ったことや企業の決算内容が好感されたことなどから上昇基調を取り戻し、償還日を迎えました。

為替市場

設定当初から原油高や米金利上昇、トルコリラの急落を受けた新興国通貨売りなどを背景にインドルピーは対米ドルで下落しました。

その後、原油価格の下落を受けてルピーは対米ドルで上昇しましたが、2020年3月に新型コロナウイルス感染拡大で投資家心理が悪化し対米ドルで大きく下落し、設定来でもルピーは米ドルに対して下落しました。

円は米中関係の悪化や新型コロナウイルス感染拡大を受けた投資家心理の悪化を受けて米ドルに対して上昇したものの、その後の米ドル高を受けて信託期間を通して小幅な円安ドル高となりました。その結果、設定来でもルピー安円高となりました。

国内債券市場

日本国債市場は、設定当初から2019年8月まで利回り低下傾向が続きました。その後米国の国債利回り上昇に連れて2020年1月中旬にかけて上昇（価格は下落）しました。新型コロナウイルス感染拡大による世界的な景気減速懸念や、好調な国債入札などを背景に一時利回りは低下しましたが、3月中旬には金融市場の混乱から換金売りが膨らみ利回りは上昇しました。その後2021年3月の日銀の決定会合では緩和策の柱である長短金利操作は、大枠を維持した上で、長期金利の変動幅を広げるなど、政策の微調整を決定しました。米国債利回りの上昇の一服もあり、日本国債利回りは3月中旬にかけて低下に転じ、さらに6月には米国債利回りの低下を受けて日本国債利回りも低下しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

なお、2021年7月27日の繰上償還の決定を受けて、組入れファンドの売却を行いました。

インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘

柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。新規案件の獲得報道や業績成長期待などを背景に上昇したインフォシスや、インド政府が銀行の不良債権問題に対処する方針を示したことが好感され上昇したICICI銀行の保有などがプラス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

基準価額水準・市況動向等を勘案して、信託期間中、分配は行いませんでした。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドにつき一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

1 万口当たりの費用明細

(2020年10月1日～2021年8月13日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	136円	1.172%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,562円です。
(投信会社)	(55)	(0.478)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(77)	(0.669)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.026)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	7	0.056	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.021)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(1)	(0.008)	信託管理事務に係る手数料
合計	143	1.228	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

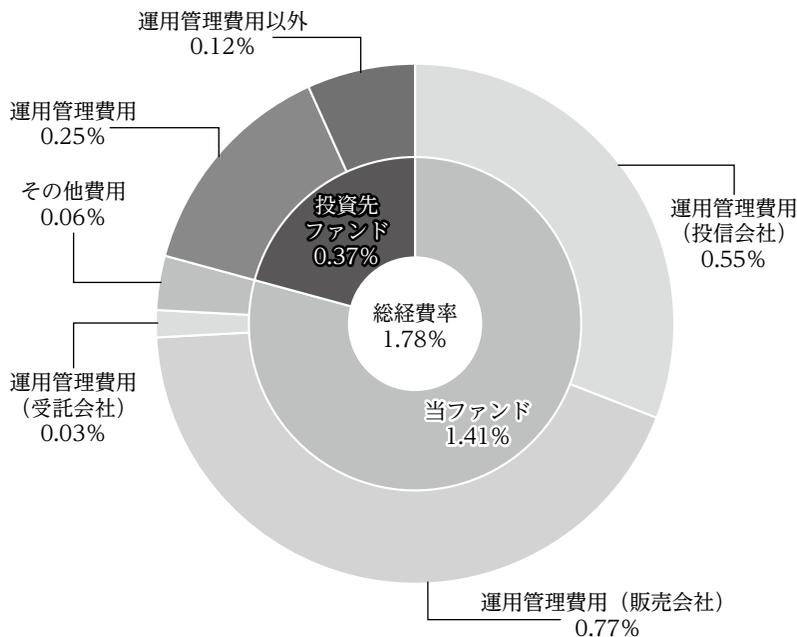
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



総経費率 (①+②+③)	1.78%
①当ファンドの費用の比率	1.41%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2020年10月1日から2021年8月13日まで)

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	口	千円	口	千円
		27,763	30	55,372	59
外国	米ドル建 モーリシャス籍 イーストスプリング・ インベストメンツ・インディア・ エクイティ・オープン・リミテッド	口	千米ドル	口	千米ドル
		12,419	522	20,067	1,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2020年10月1日から2021年8月13日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年10月1日から2021年8月13日まで)

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高 (元本)	取引の理由
百万円 12	百万円 -	百万円 -	百万円 12	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨てです。

組入資産の明細

(2021年8月13日現在)

償還時における有価証券の組入れはありません。

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)
	口 数
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	口 27,609
合 計	27,609

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	
	口数	
イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・エクイティ・オープン・リミテッド		口 7,647
合計		7,647

投資信託財産の構成

(2021年8月13日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 32,607	% 100.0
投資信託財産総額	32,607	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2021年8月13日現在)

項目	償還時
(A) 資産	32,607,925円
コール・ローン等	32,607,925
(B) 負債	412,408
未払信託報酬	412,128
未払利息	280
(C) 純資産総額(A-B)	32,195,517
元本	24,519,035
償還差益金	7,676,482
(D) 受益権総口数	24,519,035口
1万口当たり償還価額(C/D)	13,130円83銭

(注1) 元本の状況

期首元本額	32,489,233円
期中追加設定元本額	55,717,298円
期中一部解約元本額	63,687,496円

(注2) 1口当たり純資産額は1.313083円です。

損益の状況

当期(自2020年10月1日 至2021年8月13日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 3,535円
支払利息	△ 3,535
(B) 有価証券売買損益	8,201,504
売買益	16,683,479
売買損	△ 8,481,975
(C) 信託報酬等	△ 934,588
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,263,381
(E) 前期繰越損益金	△ 753,710
(F) 追加信託差損益金	1,166,811
(配当等相当額)	(145,935)
(売買損益相当額)	(1,020,876)
償還差益金(D+E+F)	7,676,482

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年3月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年8月13日		資 産 総 額	32,607,925円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	412,408円
受益権口数	12,000,000口	24,519,035口	12,519,035口	純 資 産 総 額	32,195,517円
				受 益 権 口 数	24,519,035口
元 本 額	12,000,000円	24,519,035円	12,519,035円	1 万口当たり償還金	13,130.83円
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 1 期	39,014,175	40,713,787	10,436	0	0.0000
第 2 期	41,917,837	40,574,350	9,679	0	0.0000
第 3 期	32,489,233	30,539,489	9,400	0	0.0000

償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税引前）	13,130円83銭
-----------------	------------

お知らせ

該当事項はありません。